

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	ビックママ スーパーキッズ 児童発達支援			公表日	2025年2月12日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・利用定員が発達支援室のスペースに適切であるよう、定期的にスペースの利用状況を確認し、必要に応じて調整を行っています。また、快適な環境を維持するためのレイアウト変更や設備の改善も実施しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・常勤の職員が適切に配置されています。 ・こどもの状況に合った活動の質を向上させるために非常勤の配置についても積極的に行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・階段の手摺りが、高さ違いで2段あり、成長に合わせて利用することができます。 ・どのような活動に使う場所なのか視覚的に示すよう工夫しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・生活空間が清潔で心地よく過ごせるよう、定期的な清掃と整理整頓を徹底しています。また、こども達の活動に合わせた柔軟な空間設計を行い、快適な環境を提供しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・こどもが個別の部屋や場所を使用できるよう、柔軟な空間設計を行い、必要に応じてプライベートなスペースを提供しています。また、こどものニーズに応じた環境調整を定期的に行っています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・職員間で適切なコミュニケーションが図られており、様々な視点で業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・事業所評価アンケートで保護者の意向を把握し、職員間で共有、分析し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・支援の方法など、その都度職員間で話し合いを行っています。 ・事業所自己評価表をもとに職員の意見、考えを把握し、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・現在のところ、第三者による外部評価は実施しておりません。必要性を検討した上で体制を整えたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・年間計画に基づいて社内研修(初任者研修、BCPなど)を行い、外部研修への参加の機会も設けています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・支援プログラムの作成については、児童発達管理責任者を中心に適切に行われています。ホームページにて公表されています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・計画期間ごとにモニタリングを行い、利用者や保護者の意向を取り入れた支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・児童発達支援計画の作成時には、関係職員全員が共通理解を持つための協議を行い、こどもの最善の利益を最優先に考慮しています。また、定期的なチームミーティングを通じて意見交換を行い、計画の質を高めています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・児童発達支援計画を職員間で共有するため、定期的なミーティングを実施し、計画内容の確認と意見交換を行っています。また、計画に沿った支援が確実に行われるよう、進捗状況をモニタリングしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・すべての利用者に対して、日々の活動の様子や保護者からの情報収集を通じてアセスメントが行われています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・児童発達支援計画においては、児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらいと支援内容を踏まえ、こどもの支援に必要な項目を適切に設定しています。	

援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・活動プログラムは職員のアイデアを取り入れ、準備等を分担することでチームで作り上げるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・季節にちなんだ工作、ゲームなど、利用者の実態に合わせて工夫しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		・こどもの発達段階や興味に応じて、個別活動と集団活動をバランスよく組み合わせることで、個々のニーズに対応しながら社会性も育む支援計画を作成しています。また、定期的な見直しを行い、柔軟に対応しています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員全体が把握できるようにしています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎終了後に職員で保護者からの連絡事項やその日にあった出来事を話す機会を設け、情報交換を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・職員間で共有したことを基に、利用者個人の支援記録を毎日作成しモニタリングに活用しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・定期的なモニタリングを通じて、児童発達支援計画の効果を評価し、必要に応じて迅速に見直しを行うことで、こどもたちの変化に柔軟に対応しています。また、保護者やスタッフからのフィードバックを積極的に取り入れています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・勤務体制を調整し、子どもと日常的に接している職員が参加することができるようにしています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育などの関係機関と定期的に情報共有を行い、連携を強化しています。また、各機関との連絡窓口を明確にし、迅速な対応ができる体制を整えています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		○		・併行利用や移行支援を行う際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校との定期的な会議を実施し、支援内容の情報共有と相互理解を深めることが必要と思われます。また、各機関との連携を強化するための研修やワークショップも開催することも必要です。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		・就学時の移行支援では、小学校や特別支援学校との定期的な会議を通じて、支援内容の情報共有と相互理解を深めています。また、こども一人ひとりのニーズに応じた個別の移行計画を作成し、スムーズな移行をサポートしています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○		・必要に応じて、児童発達支援センターと連携を図り、現場での支援方法や課題について相談したり、助言を受けたりすることができる環境があります。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流の機会を持つことができるよう職員間での情報交換を行っていきたく考えています。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・連絡帳で日々の様子をお伝えするとともに、送迎時にもその都度活動の様子や状況をお伝えし、情報共有を行っています。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○			

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・契約時に運営規定や支援プログラム、利用者負担額等について説明を行い、質問等あればその場で答えています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・子どもや保護者との必要に応じた面談を通じて、現在の状況や希望を直接確認することにより、子どもや保護者の意見を反映した支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・面談時に支援内容の説明を行い、保護者の方から同意していただいたうえで署名をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的な相談会や面談を通じて、家族の子育ての悩みに対して適切に対応しています。また、専門家による助言や支援を提供し、家族が安心して子育てできるようサポートしています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	・現時点で父母の会、保護者会などは開催しておりません。今後必要となった際、検討したいと思います。	
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・利用者が苦情を申し出やすい環境づくりに配慮しています。苦情があった場合は、その内容に応じて対応策を検討し、解決に向けて努めます。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・月1回のSK通信、インスタグラムを通して発信しています。今年は動画で活動の様子を配信させていただきました。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・個人情報の取扱いに関しては、厳格な管理体制を整え、アクセス権限を限定しています。また、定期的な研修を通じてスタッフの意識向上を図り、最新のセキュリティ対策を導入しています。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・障害のある子どもや保護者との意思疎通を円滑にするため、コミュニケーションツールや支援機器を活用しています。また、個別のニーズに応じた対応を行い、定期的な面談を通じて情報伝達を確実にしています。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・今後保護者からの要望があれば、検討をしていきます。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各種マニュアルを作成し、利用者やご家族の方が内容を共有できるようホームページに掲載しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・災害時に重要な業務を継続するための計画を策定し、職員に周知徹底し、計画に沿って訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・薬等の必要な子どもの保護者からの情報を職員間で共有しています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・対象となる利用者がある場合には適切に対応します。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全衛生計画を作成し、定期的な研修により職員に周知徹底しています。物理的な安全対策（非常口の確保など）により、利用者や職員の安全を確保しています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・安全衛生計画を作成し、保護者にはホームページを通して周知しています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・ヒヤリハット事例を事業所内で共有し、定期的なミーティングを通じて再発防止策を検討しています。また、スタッフ全員が積極的に意見を出し合い、改善策を実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止のため、定期的な研修を実施し、職員の意識向上を図っています。また、研修内容を最新の情報に更新し、実践的な対応策を学ぶ機会を提供しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			・身体拘束をやむを得ず行うケースについて職員間で情報共有しています。保護者については、個別の支援計画に記載し、説明することで理解を得たいと考えています。